

お知らせ

☆ReMORIのホームページが更新されました。（「[栲原町森林再生プロジェクトりもりさん](#)」で検索）

☆ゆすはら地域おこし協力隊員5名がinstagram（インスタグラム）で日々の暮らしや協力隊の活動の様子を発信しています。↓↓↓

角金玄@remoriyusuhara_gen 下村智也@yusuhara_kurashi 高橋亮多@remoriyusuhara_ryota 山口佑貴@yusuhara_folklore 長谷川夏輝@yusuhara_natsu



セラピーロード



最終年となるこの一年間は、任期終了後の生業に直結するような活動を主に行い、新たに着任した協力隊員のサポートにも力を入れていきたいと考えています。

来年の六月三十日には町民の皆さまに良いご報告ができるよう、この一年間精進して参りますので、引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。

角金



協力隊員、最終年へ



ゆすはら地域おこし協力隊の角金です。二〇二〇年の初夏に岡山県倉敷市から栲原町に移住。この二年間、森林技術者（林業）担い手として町内の林業事業者や県外の特種伐採技術研修に取り組みできました。

地域おこし協力隊に着任してからの二年间は川上木材さん、森林組合さん、土釜林業さん、安井建築さん、川上博史さん、上田和弘さん、松山榮喜さん、下元廣幸さん、炭焼きの前田栄一さんらのもとで林業研修を行いました。また、太郎川公園で昨年に行っている森林フェスティバルのアクティビティでもあるツリークライミング、そのツリークライミングの技術を応用して行う特殊伐採（樹上伐採）に魅力や将来性を感じ、資格習得や研修に励んできました。

移住当初は林業についての知識はなく、林業を生業にするというような将来像は正直見えていなかったように思います。それは林業がしたいという想いより、栲原町の豊かな自然のなかでスローで豊かなライフスタイルを送りたいという想いの方が強かったためです。

そんな私が林業の世界に興味を持ったきっかけは、移住相談の際に出会った森林の文化創造推進課の立道課長からの「一緒に森林づくりをしませんか」の一言でした。あの出会いがなければ…。

知識・経験ゼロで我武者羅に林業の基本を学んだ二年目、造林やセラピーロードの整備など森林づくりにも励んだ二年目、林業のことを幅広く学んでいくうちに、この世界の魅力に引き込まれました。そして今現在、『林業を生業にする』という移住当初にはなかった気持ちが芽生えていることに私自身も驚いています。

二〇二〇年の七月一日に着任し、任期もあと一年となりました。当初一人で苦しい時期もありましたが、ご近所の方々（宮野々の皆さま、ありがとうございます。）や林業関係者の皆さまのあたたかいサポートのおかげで乗り切ることができました。

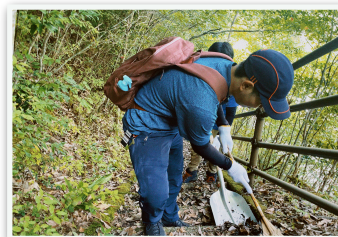
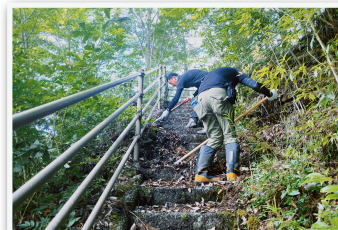
最終年となるこの一年間は、任期終了後の生業に直結するような活動を主に行い、新たに着任した協力隊員のサポートにも力を入れていきたいと考えています。

来年の六月三十日には町民の皆さまに良いご報告ができるよう、この一年間精進して参りますので、引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。

リモリマンズリ

第3号

協力隊員が五人揃ってから初！久保谷セラピーロードの整備へ。ロード入り口の階段の落ち葉や苔を掃除し、登り降りしやすくしました。整備後は新隊員たちと癒しのセラピーロード散歩。集合写真はセラピーロード整備のご指導いただいている松原まろうど会の下元廣幸さんと協力隊員です。

定期総会を終えて
会長から報告

リモリの定期総会を六月十五日に終えました。役員は再選され、二年前の立ち上げ時と同じ体制で、大事な三年目に入ることにしました。

リモリは二つの重要な役割を担っています。

一つは全国募集した『地域おこし協力隊員』を受け入れ、育成すること。もう一つは、参加事業者の意思疎通を図りながら、町内林業の前進へ足並みを揃えることです。

役員会は月に一度の会議で、課題解決に向け論議を深めてきました。

町内に県立林業大学校のような教育機関はありません。この二年间は、地元のパテラン組たちの助けを借り、育成の方法を探ってきましたと言えます。

この春、協力隊員は三人増えて一挙に五人になりました。秋に更に一人増の予定。指導態勢を充実するため、県森林組合連合会の施業アドバイザー・森本正延氏を招き、本格的な育成システムの構築を目指して諸点検を始めました。

隊員の任期は三年。修了後の隊員が町内にしっかりと定住できるよう、役員会は手を差し伸べたいと考えています。

コロナ禍とウクライナ戦争で、外国産木材の輸入が困難になる『ウッドショック』が起きました。その影響は思わぬ「原木（丸太）高」でした。製材品も値上がりしました。その後の「円安」で、この傾向は暫く続きそうです。

今大事なことは、輸入材に頼らなくていい国内態勢を作ることです。生産性を上げつつ、木材生産量を増やす必要があります。今年度は、この点にも目配せしつつ、町内林業の前進を目指したいと考えています。

（役場の）森林の文化創造推進課が三年目に入り、広葉樹を含めた皆伐地への再造林や大勢の親子が太郎川公園に集うイベント開催など、確かな歩みを始めました。

リモリの事務局は推進課が担ってくれています。

役員及び事務局が力を合わせて取り組ましますので、今年度も町民の皆さまの温かい応援を、よろしくお願ひ致します。

会長…笹岡高志

副会長…西村義幸、川上周一

監査…土釜清、森山真二

事務局長…氏原智之（矢崎総業）

